

東京医学会

東京医学会 第 2427 回集会

日時：平成 19 年 10 月 9 日（火） 17:00~18:00

場所：医学部教育研究棟 11 階 分子病理学ミーティングルーム

演者：岡田 斉 博士

（所属）トロント大学（カナダ）

演題：**Roles of HLA-B-associated transcript 3 (Bat3)/Scythe in DNA damage response and development**

紹介：Bat3 (HLA-B-associated transcript 3)は主要組織適合遺伝子複合体 (MHC)の構成遺伝子として同定されました。近年 Bat3 がアポトーシスにおいて重要な役割を果たすことが示されましたが、その作用機構には未解明の部分が多く残されています。岡田先生は Bat3 がアポトーシスにおいて中心的役割を果たす p53 と DNA 上で転写複合体を形成し、p300 との相互作用を介して p53 による転写調節を亢進することを見出しました。本セミナーでは Bat3 の大腸癌の発症に関する役割などの検討も含めて最新の知見をお話しいただく予定です。今回は博士のお話が聞ける貴重な機会ですので、多数の先生方の御来聴をお待ちしております。

主催：東京医学会

共催：分子病理学 教室

グローバル COE プログラム

「生体シグナルを基盤とする統合生命学」